

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学Ⅱ 演習		講義・演習	中谷 勝己・谷口 誠典・渡部 暁子 畑中 深里	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
視力、屈折、調節に関わる検査は眼科でよく行われています。それらに異常があれば、一般的に眼鏡やコンタクトレンズを使用します。この授業では、クロスシリンダー法、石原式近点計、石原式近点計、近見視力検査を理解できる。③眼鏡フレームやレンズの特徴を理解できる。④レンズメートルにて、眼鏡度数の内容の講義・演習を行います。				
授業の到達目標				
以下のことを到達目標とする。①クロスシリンダー法にて、眼の屈折を測定することができる。②石原式近点計、近見視力検査を理解できる。③眼鏡フレームやレンズの特徴を理解できる。④レンズメートルにて、眼鏡度数を測定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	石原式近点計	16	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
2	近見視力検査、加入度数の測定	17	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
3	クロスシリンダー法（目的、原理）	18	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
4	クロスシリンダー法（手順）	19	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
5	クロスシリンダー法 実習	20	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
6	クロスシリンダー法 実習	21	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
7	クロスシリンダー法 実習	22	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
8	クロスシリンダー法 実習	23	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
9	クロスシリンダー法（屈折状態）	24	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
10	眼鏡フレーム、眼鏡レンズ（特徴を表す項目、設計など）	25	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
11	眼鏡レンズ（二重焦点レンズ、累進屈折力レンズ）	26	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
12	眼鏡レンズ（累進屈折力レンズ）	27	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	
13	中近両用レンズ、近近両用レンズ、眼鏡フィッティング	28	クロスシリンダー法 実技試験	
14	レンズメートル（原理、種類、手順）	29	クロスシリンダー法 実技試験	
15	クロスシリンダー法／レンズメートル 実習	30	レンズメートル 実技試験	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	100%	実技試験（クロスシリンダー法、レンズメートル）		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
視能学 第2版	丸尾敏夫 他		文光堂	
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬		金原出版	
視能学エキスパート 光学・眼鏡	松本富美子		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				